

会 員 各 位

日 本 ば ね 学 会  
会 長 納 富 充 雄

### 「復元力応用分科会」第 36 回講演会開催のご案内

「復元力応用分科会」では、広い意味でのばねの役割の知見を深めることを目的として、復元力の応用分野の講演会を企画しております。新型コロナウイルス感染症の影響で第 29 回からオンラインで開催しておりますが、今回も下記のとおりオンラインで開催することになりました。移動時間がかからず会員どなたでも無料でご参加することができますので是非ご検討下さい。参加申込をお待ちしています。

#### 記

1. 開催日時 2024 年 5 月 15 日（水）10：30～11：30
2. 開催場所 Web 会議システム（Zoom）
3. スケジュール  
10:30～10:35 開会挨拶 復元力応用分科会 主査 小竹 茂夫  
10:35～11:35 サスペンション機構を用いた海洋構造物のポテンシャルとチャレンジ  
横浜国立大学 韓 佳琳 先生

海洋構造物は、常に変化する海況の影響を受けます。特に波の激しい状況下では、構造が損傷しやすく、作業員の安全が脅かされる可能性が高まります。本講演ではサスペンション機構を活用する視点から、新設計を導入する際に生じたポテンシャルとチャレンジをご紹介します。

11:35～11:40 閉会挨拶 復元力応用分科会 幹事 松本 徳彦

4. 参加費 ばね学会会員 無料（会員以外は 5,000 円）  
※法人会員に所属する社員の方は会員扱いになります。

#### 5. 申込方法・参加方法

当学会ホームページ (<https://www.jsse-web.jp/>) の第 36 回復元力応用分科会講演会の申込フォームから必要事項を記入の上、5 月 8 日までにお申込ください。申込された方に、講演を聴講する URL を送付いたします。

#### 【参加いただくために同意いただく事項（重要）】

無断での発表画面の録画・撮影は固く禁止します。参加するにあたり、URL 等の参加者限定情報を第三者に伝えないこと、発表画面を録画・撮影しないことに同意いただきます。



# 「復元力応用分科会」第36回講演会の見どころ紹介

復元力応用分科会 運営委員一同

## 「サスペンション機構を用いた海洋構造物のポテンシャルとチャレンジ」

横浜国立大学 韓 佳琳 氏

### 【略歴】

2017年3月 東京大学で博士（工学）取得

2017年4月～2018年9月 東京大学・北澤研究室・特任研究員

2018年10月～2022年3月 大阪府立大学・海洋システム工学分野・助教

2022年4月～ 横浜国立大学・システム創生部門・助教

### 【見どころ】

自動車等に利用されるサスペンション構造をはじめとして、乗り物や建造物の振動・揺動を吸収し、乗り心地を改善することは、ばねが重要な役割を果たす使用用途です。地上であっても乗り物には、単純な上下動だけでなく、ローリングやピッチング、ヨーイングといった複雑な振動・揺動が発生し、これらを吸収・制振させる必要があります。

一方、更に複合的な変位が発生する海上における乗り物や構造物においては、波による加振や浮力による復元力、流れによる並進運動が発生するなど、より複雑な振動を抑制する必要があります。近年、我が国における脱炭素化の切り札である海洋風力発電においては、風による影響や風車自体の揺れや回転翼の影響が加味されるなど、さらなる技術革新を必要とします。

本講演では、海上における乗り物や構造物における揺動抑制の手段としてのサスペンション構造の実施事例やその応用方法をご講演頂き、海洋の分野でのばねの可能性を学ぶことができればと思います。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。